

インタラクティブ国際学会報告書

井上研究室 信川省吾

学会名：The Second International Workshop for Far East Asian Young Rheologists

期間：2007, January, 26-28

場所：京都工芸繊維大学 & 京都各所

私はインタラクティブプログラムを利用し、1月26, 27, 28日の3日間、京都工芸繊維大学で開かれたレオロジーワークショップに参加させていただきました。このワークショップでは日本、韓国、中国の3ヶ国のレオロジー分野の若手研究員や学生が研究発表をし、今回で2回目となります。オーラル、ポスターのどちらも英語でのディスカッションでしたので、普段あまり英語を使わない私にとってはかなり大変でした。

私は1日目のポスターセッションで発表をさせていただきました。質問にうまく対応できたかわかりませんが、楽しく英語でのディスカッションができたと思います。また、2日目には中国や韓国の学生と京都の名所を見回るというツアーもあり、京都の有名な寺の歴史を英語で話すという機会も経験できました。また同時に英語で会話することの難しさも痛感しました。個人的にはこのプログラムの趣旨通り、かなり外国人とのインタラクティブができたのではないかと思います。このワークショップは来年もあり、今度は上海で開催されるということなので、機会があればまた参加したいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な経験をさせていただき、インタラクティブプログラムの皆様、ならびにワークショップの関係の方々に改めて御申し上げます。

